

# みき通信

日本共産党 町議会議員  
くぼたみき 活動報告

第68号 2017年3月31日



発行 がんばれ くぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

## これがアベ政権の正体

特別養護老人ホームに入りたくとも入れない待機者が身近に多くみられますが、NHKの番組「クローズアップ現代」によれば、せっかく建設された特養やサービス付き高齢者専用住宅が、ベットが空いていたり、会社が倒産して放置されているというのです。

人材不足のほか、地域によっては乱立し需要と供給のバランスが崩れていることや待機者が即入所につながらないことから、待機者数が実情に見合っているかという問題が指摘されていました。こんな杜撰なことで、施設建設に多額の国の補助金が出されているのが不思議です。

国はこの4月から要支援1・2を介護保険から外し、各自治体の事業に移し、当面は現状サービス継続と言いつつ、将来的には地域のボランティアによる安上がりな助け合いに依存しようとしています。本来なら高齢化に対応して社会保障費を増額し、医療・介護をより良く整備して地域を支えるべきですが、まったく逆の方向に進めているのがアベ政権です。

更に今問題の森友学園にかかわる国有地のあり得ない値引きと、条件が不足しているのに認可されるという不正疑惑は、国民には我慢させながら一部には都合よく大金を動かす、権力者の傲慢極まりない姿を示しています。

3月17日、これまで大臣告示で月45時間、年間360時間とされる残業時間について「繁忙期は100時間未満」とする指針を新たに設けることが決まり、過労死ラインまで働かせようとするアベ政権に批判が高まっています。

安心して預けられる保育園も足りない、低賃金で労働環境も悪い、介護はぎりぎりまで自助共助でというような、若い世代も、お年寄りも、未来も希望もない今の日本に活気を取り戻すには、国の政治を変えること。

「アベ政治を許さない」一人ひとりの意志表示が必要です。

## 平成29年第1回定例会が終わって

町議会議員 くぼた みき

第1回定例会は、次年度の予算審査もあり、予算案に対する総括質問、一般質問と、町長・町部局と公式の場面で直接やり取りをします。

一般質問では、葉山町では赤字補填も考えると言われる「ふるさと納税」に、返礼品に頼らず葉山町にしかない魅力ある企画や、町が行っている子育て支援策等、更に施策を充実させ寄せられた寄付金を生かし、どう使われたかを合わせて発信し、ふるさと納税先PRとすることを提案しました。

町長は「事業ごと納税先とし、どのような成果が出たかを発信することは、おもてなしの一つ。来年度に向け検討し実施していきたい」というもの。ふるさと納税は返礼品を豪華にする自治体間の加熱競争になっています。早急に取り組むことを要望しました。

また、学校給食センター化のメリットに経費削減が挙げられています。「センター化のコストメリットを給食費補助に回す考えはないか」と尋ねました。教育長は「ランニングコストが浮く分が教育委員会の収入になるわけではない。地産地消の取り組みによりコストが上がる可能性もある。今の給食費負担を超過するような場合は改めて考える。町全体の財政運用の中で生じたコスト低減を財政支出でどのように活用するかは教育委員会で考えるのは難しい」というので、町長に質問しました。町長は「コスト削減もあるかもしれないが、借金もするので大きく膨らむ可能性も十分ある。センター化が進み仮にコスト削減が数カ年決算で分かった時考える」との答弁。コストメリットが出るかわからないというのは、センター化にはコストメリットがあるとしたこれまでの説明と大きく違い、再質問しました。町長は「コスト削減のためのセンター化ではない。コストが跳ね上がる可能性もある。それでもセンター化は、色々な意味でメリットがあり進めるべき」という答弁。教育長から「長期的には人件費等でコストメリットは出る。コストだけではないメリットの方が大きい」という答弁もありました。

センター化のメリットばかりを考えた学校給食センター化ではないかと感じざるを得ず、ここまで動いている事業ですが、今後も追及が必要です。